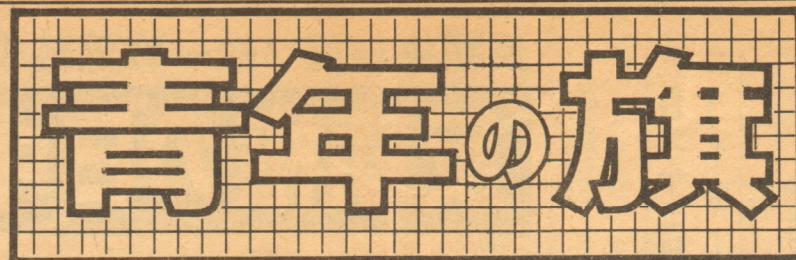
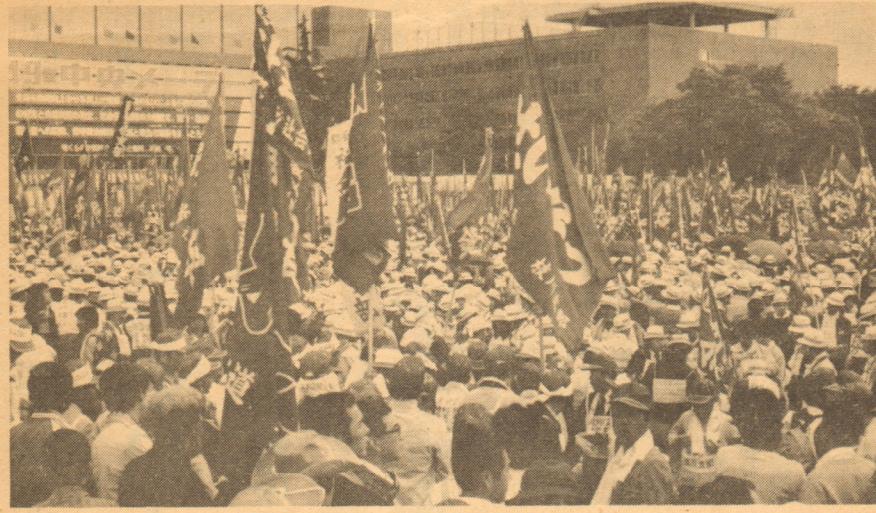


平和と平和共存、反独占民主主義  
平和・民主・労働運動統一のために  
大衆的青年同盟建設のために



## 第15号

編集 労働青年同盟(仮称)結成準備会  
発行 青年の旗社  
振替 東京6-40103 大阪37542 名古屋4650  
一部200円、定期購読 年間三千円(送料込み)



## 許せぬ実質賃金ダウン

ゼロ回答・首切り攻撃はねのけ  
春闘終盤闘い抜こう

## 主張

## 反動攻勢への危険な合唱

## 防衛力増強キヤンペーン

五月二十三日からよいよ国連史上初めての国連軍縮特別総会が開かれようとしている時、日本における防衛力増強のキヤンペーンは、危険極まりないものとなっている。

昨年十一月、稻山鉄鋼連盟会長が、「戦争でもなければ不況克服は無理だ」と発言して以来、本年一月に入つて以降、政府・自民党・財界は、一齊に攻撃に転じ、福田首相をして「憲法九条の解釈は、核兵器は防御的なものである限り禁止されていない」とまでいわしめている。

自衛隊を「違憲の疑いあり」としてきた公明党が先の同党全国大会で「容認論」に転化したこと、そして昨年末エスカレートしてきた造船重機労連幹部の防衛産業見直し論、武器輸出解禁の要求について、宮田鉄鋼労連委員長の「自衛のための防衛産業に大胆に取り組む姿勢がないと国家百年の計が成りたたない」等の野党・労働側の発言は、政府・財界を大いに喜ばせている。

自衛隊を「違憲の疑いあり」としてきた公明党が先の同党全国大会で「容認論」に転化したこと、そして昨年末エスカレートしてきた造船重機労連幹部の防衛産業見直し論、武器輸出解禁の要求について、宮田鉄鋼労連委員長の「自衛のための防衛産業に大胆に取り組む姿勢がないと国家百年の計が成りたたない」等の野党・労働側の発言は、政府・財界を大いに喜ばせている。

## 米・中・日、反ソ同盟の危険

い憲法九条は盲腸のようなもの「切りとつておくべきだ」と書いてしまっている。さらに、日本の戦犯・極反動を代表する岸信介と源田実を会長・最高顧問に選ばれたように、日本における防衛力増強のキヤンペーンは、危険極まりないものとなっている。

日本も韓国維新憲法から学ばなければならぬ。

日本は、危険極まりないものとなっている。

日本も韓国維新憲法から学ばなければならぬ。

日本も韓国維新



# 三波にわたる統一闘争

## 公労協統一闘争

### 悪らつな弾圧、分裂攻撃

公労協七八春闘は、二十

六日深夜、八六七四円五・

四%（公企体等加重平均・

定昇込）の調停委員長見解

で事実上終結した。

政府・独占資本の異常な

までの公労協攻撃の中で三

波にわたるストライキを打

ち抜いた意義は大きいとは

いえ、貨上げ額では物価上

昇にすら遠く及ばず、ここ

数年闘いとつきた私鉄連

動さえ実現しえず、また民

間相場（日経連発表）でさえ

二十七日現在六・一%）を

徹底的に値切られた低額貨

上げの押しつけを許したこ

とは、公労協統一闘争に數

々の問題点を投げかけたと

### 問題残した自主解決方式

#### 私鉄総連

（日本で一万一千五百円、約八%）が相場の上限をおさえる機能をフルに發揮し

この土俵の中での争いに押えこまれたこと。

そして、JCが格差賃金の回答であつたことにより、私鉄の貨上げが公労協をはじめ今春闘の相場づくりの主役になつたこと。今秋の回答であつたことにより、私鉄貨金の押込みの外圧が強かつたことである。

こうした状況を考えるならば、中労委依存からの脱却という点では積極的意味をもつしても自主交渉、自主解決路線が交運共闘からの離脱を伴うならば政府の低賃金抑え込み攻撃をはねかえすることは困難である。それゆえ自主解決を堅持したいがためにも、JC戦術会議で、論議の末造船重機連の七八貨闘は奇妙な二本立て歯止めの基準（CP-I上昇率六・八%以下、定昇率二み七〇〇円以降、史上空前の利益）を引き出しこそ共に延長法案提出の向で作

### ゼロ回答続く中手企業

#### 全造船 大手は超低額で收拾

私鉄総連は、今年も昨年と同様、自主交渉・自主解決を目指した「事後対処」方式、「一回時間、七二時間の二波のストを背景に七八春闘にのぞんだ。

二波のストにもかかわらず、年間臨時給の積み上げ分（〇・一五・五%アップ）の回答は変わらず、年間臨時給の積み上げ分（〇・一五・五%アップ）が貨金で八千八百円（五・五%アップ）の回答は変わらず、年間臨時給の積み上げ分（〇・一五・五%）は月割りにして約二千七円で、一・三%アップという計算になり、アッピングという計算になり、アッピングによって年度平均物価上昇率（政府見込み）に届いたものの、政府・独占の低賃金抑え込みに完全に屈した内容である。

今春闘の特徴は、七割操業状態の鉄鋼回答（七千円・二%）が貨上げ相場を上げ、史上空前の利益

の交通ゼネラルの回答

私鉄総連幹部が國労・動労

上）をきめた。第一回回答

井）はベア三七〇〇円（定

も出ないうちから歴どめ基

昇込み七二〇〇円、退職

金増額を要求して始まつた

標準を出すという奇妙さに加

えて、妥結基準が二種類あ

り、「基準に達している」

組合は「基準に達していない」

として妥結に向い、ついに

決起集会の成功、等の問い合わせを取るのに失敗。

ある。相乗効果を狙つた集

団決戦のたてまえは互解し

て、組合員において一種

の、組合員において一種

